

事業報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

公益財団法人 藤原ナチュラルヒストリー振興財団

公益財団法人藤原ナチュラルヒストリー振興財団
平成27年度事業報告

I. 事業の状況

1. ナチュラルヒストリーの学術研究に対する助成(定款第4条第1項第1号)公1

ナチュラルヒストリーの分野を動物・非動物の二分野に分け、今年度は非動物分野について、全国の大学、研究施設に勤務するか又は日本国内に居住する研究者に対し、研究に必要な資金を助成する。

・平成28年1月13日開催の理事会に於いて、地学32件、植物学33件(うち1件辞退)の応募の中から、2回の選考委員会によって選ばれた地学14件、植物学14件、総額2000万円を平成27年度の学術研究助成者として承認した。

決定後、地学2名、植物学1名の辞退があったため、繰り上げ候補者の中から地学2名、植物学2名を繰り上げて、最終的に合計29名(地学14名、植物学15名)に総額2000万円の助成金を贈呈した。

(助成者一覧:別表1参照)

2. 初等中等教育機関におけるナチュラルヒストリーの学習支援、並びに教員の研究活動に必要な実験器材や教材等への補助(定款第4条第1項第2号)公1

平成27年度は各国の日本人学校を含む全国の初等中等教育機関の中で、特に高等学校もしくは高等部における生物の授業に必要なA備品・B古い生徒用顕微鏡の買換え補助・C課外活動に必要な交通費等の補助もしくは消耗品へ助成する。

・平成28年1月13日開催の理事会に於いて、21件(A5件、B8件、C8件)の応募の中から2回の選考委員会によって選ばれた5件(A1件・B2件・C2件)、総額2,663,224円(A並びにBは見積後の金額、Cは申請額)を平成27年度の高等学校助成校として承認した。

決定後、Aの上海日本人学校の諸経費等は概算見積もりであったため、実際に物品の発送後の金額に変更が出た。また、Cに関しては、貸切バス等の値上げにより、2校ともに金額の変更があった。よって、最終的に総額2,693,324円の助成金を贈呈した。

(助成校一覧:別表2参照)

3. その他目的を達成するために必要な事業(定款第4条第1項第3号)公2

(1) 平成27年度シンポジウム

平成27年11月15日ナチュラルヒストリーに関するシンポジウム(テーマ:流れが運ぶ自然史)を国立科学博物館日本館講堂において開催し、4名の講師による以下の講演を行い、参加者は100名を超えた。

・ルグラン ジュリアン(中央大学理工学部 助教)

「飛ばされ流された花粉や胞子が教える恐竜時代の環境」

・田中法生(国立科学博物館 研究主幹)

「海草は海流に乗って移動する?」

・榎永一宏(滋賀県立琵琶湖博物館 専門学芸員)

「海洋を越えたアシナガバエの分散と進化」

・大越健嗣(東邦大学理学部 教授)

「大津波と海洋生物—突然の巨大な流れが更新する沿岸環境」

また、同日開催した高校生ポスター研究発表では17件の高校生によるポスター発表が行われた。
17件のうち以下のとおり、最優秀賞1校、優秀賞2校を表彰した。

最優秀賞

「鳥の小翼羽の形状とその生態との関係」 市川学園市川高等学校：田谷昌仁

優秀賞

「絶滅危惧植物インドオオイシソウの生育調査と培養の試み」 浦和実業学園高等学校：矢野誠也

「千葉県市川市でのツバメの人工巣による誘導と保全対策」

千葉県立船橋東高等学校：奈良橋桃子・梅田琴・来栖康太・小櫃隼

(2)平成27年度フォトコンテスト

第2回中学生・高校生フォトコンテストを、7月1日から9月30日までを応募期間として開催した。52件の応募の中から、最優秀賞1名並びに優秀賞2名、佳作7名を、11月10日に伊藤元己フォトコンテスト選考委員長の「第2回中学生・高校生フォトコンテスト選考経過報告書」をもとに、各理事に承認伺いを電子メールにて行い、承認された。

最優秀賞 「潤す」 右田陽(攻玉社中学校3年)

優秀賞 「虹」 七條怜(ブラッセル日本人学校中学部3年)

「時を超えて」 大松智也(広島学院高等学校2年)

佳 作 「働き蜂」 中村大地(ブラッセル日本人学校中学部3年) 他 6 作品

また、一般のフォトコンテストは、10月1日から11月30日までを応募期間として開催した。59件の応募の中から平成28年1月13日開催の理事会に於いて、最優秀賞1名、優秀賞2名、佳作6名を決定した。

最優秀賞 「銀河(ほし)への想い」 林昌尚

優秀賞 「水滴」 石崎幸浩

「命のリレー」 栗山麻奈美

佳 作 「生まれたて」 山田敏通 他 5 作品

各フォトコンテストの受賞作品及びコメントを、当財団ホームページに掲載した。

II. 庶務の概要

① 役員会等に関する事項

(1) 理事会(総理事数9名、定足数5名)

定款第44条により、電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、理事会決議があったものとみなすこととなっております。

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果	出席人数
H27.5.18	1 平成26年度事業報告及び付属明細書承認の件 2 平成26年度収支決算書承認の件 3 評議員候補者選任の件 4 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について 5 報告事項:理事長及び常務理事より、職務執行状況報告	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承	理事9、監事2
H27.6.5	1 理事長、常務理事選任の件	全会一致で承認・可決	理事6、監事2
H27.9.7(電磁会議)	1 評議員候補者選任の件	全会一致で承認・可決	理事9、監事2
H27.11.10(電磁会議)	1 第2回中学生・高校生フォトコンテスト受賞作品承認の件	全会一致で承認・可決	理事9、監事2
H28.1.13	1 平成27年度学術研究助成決定の件 2 平成27年度高等学校助成決定の件 3 ウェブサイトに於けるフォトコンテスト受賞者決定の件 4 報告事項:理事長及び常務理事より、職務執行状況報告 (追加報告:藤原基美子理事より、平成27年12月22日の内閣府公益認定委員会による立入検査の報告)	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承 出席者全員了承	理事9、監事2
H28.3.15	1 平成28年度事業承認の件 2 平成28年度収支予算書承認の件 3 特定資産積立の承認並びに特定資産取扱規程承認の件 4 理事候補者(1名)選任の件 5 平成28年度学術研究助成並びに高等学校助成選考委員選任の件 6 特定個人情報取扱規程承認の件 7 公印取扱規程承認の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決	理事9、監事1

(2) 評議員会(総評議員数10名、定足数6名。8月26日から9月14日までは総評議員数9名、定足数5名)

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果	出席人数
H27.6.5	1 平成26年度事業報告並びに付属明細書報告の件 2 平成26年度収支決算書承認の件 3 理事及び監事選任の件 4 評議員(1名)選任の件 5 報告事項:理事長及び常務理事より、職務執行状況報告	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承	評議員9、理事6、監事2
H27.9.14(電磁会議)	1 評議員(1名)選任の件	全会一致で承認・可決	評議員9
H28.3.22(電磁会議)	1 理事(1名)選任の件	全会一致で承認・可決	評議員10

(3) 選考委員会(学術助成)

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
H27.6.9	1 選考委員長の選出 2 応募要領及び申請書について 3 審査の方法 4 評価の方法	石川正弘氏(横浜国立大学教授)を委員長に選出、申請案件を各選考委員によって3つの評価項目に付きA～Dの評点を記し、総合評価としてA～Dの評点を記入した総合評価表を基に、選考委員会に於て最終決定することを承認。
H27.12.4	平成27年度学術研究助成(地学・植物学)候補者選定の件	候補者として28件(各14件)総額2,000万円を選考した。また、決定後辞退があった場合を考慮し、繰上げ候補者6名(地学2名、植物学4名)を選考した。

(4) 選考委員会(高等学校助成)

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
H27.6.18	1 選考委員長の選出 2 応募要領及び申請書について 3 審査の方法 4 評価の方法	関口伸一氏(海城中学高等学校教諭)を委員長に選出。事務局より今年度は助成内容をA備品・B生徒用の古い顕微鏡の買換え・C課外活動に必要な交通費等の3通り(併願申請不可)に、また助成金額は総額300万円(Aは100万円以下、C30万円以下)になることが説明された。申請案件を各選考委員によって、AとCは3つの評価項目を5～1の評点と、総合評価としてA～Eの評点を記入し、Bについては備品台帳を確認のうえ、古いもの・地域性を考慮した上で、ABCともに優先順位を記入した総合評価表を基に最終決定することを承認。
H27.12.11	平成27年度高等学校助成候補者選定の件	候補者として5件(A1件・BC各2件)総額3,029,264円(各候補者申請金額の合計)を選考した。

選考委員(学術研究助成):6名

学術分野	氏名	就任年月日	現 職	備考
地学	石川 正弘	H27.3.10	横浜国立大学大学院 教授	委員長
〃	佐藤 たまき	〃	東京学芸大学 准教授	
〃	矢部 淳	〃	国立科学博物館 研究主幹	
植物学	綿野 泰行	〃	千葉大学大学院 教授	
〃	野崎 久義	〃	東京大学大学院 准教授	
〃	上原 浩一	〃	千葉大学大学院 准教授	

選考委員(高等学校助成・旧備品助成):3名

氏 名	就任年月日	現 職	備考
関口 伸一	H27.3.10	海城中学高等学校 教諭	委員長
佐野 寛子	〃	東京都立国際高等学校 教諭	
菊池 篤	〃	東京都立南葛飾高等学校 教諭	

② 職員に関する事項

(平成28年3月末日現在)

職 名	常勤・非常勤	氏 名	採用年月日	担当事務	備考
職 員	常勤	藤原 基美子	S55.9.28	事務局長	
職 員	常勤	井石(宮澤)亜紀	H27.4.1	一般事務	

③ 許可、認可、承認、証明等に関する事項

該当なし

④ 契約に関する事項

該当なし

⑤ 寄付金に関する事項

該当なし

⑥ 内閣府公益法人(行政担当)への届出

提出年月日	届出内容
H27.6.26	平成26年度 事業報告書等
H27.7.10	変更の届出(理事・監事任期満了による改選、評議員1名任期途中での退任ならびに新任)
H27.9.11	変更の届出(評議員1名辞任)
H27.10.13	変更の届出(評議員1名新任)
H28.3.30	平成28年度 事業計画書等

* H27.12.22 内閣府による公益認定法第27条第1項に基づく立入検査の実施

<附属明細書の作成について>

上記の事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので附属明細書は作成していません。

平成27年度（第24回）学術研究助成 助成者一覧

[地学] 14名 925万円

NO	氏名	研究課題	助成金
1	一島 啓人	北西太平洋初産出のイッカク科化石の意義～北極海鯨類相との比較の観点から～	43.8万円
2	椎野 勇太	オールドビス系ボーダ石灰岩の微構造および生物遺骸の3次元立体構築	96.5万円
3	野田 篤	西南日本に分布する上部白亜系の堆積盆形成メカニズムの解明	82.1万円
4	森 圭子	森林生態系の診断ツールとなる堆積腐植層(落ち葉以下の有機物及び土壌表層)の分類	50万円
5	山口 龍彦	深海生物の性の化石記録	30.5万円
6	唐沢 興希	白亜紀アンモナイト類の螺環断面形態の比較と力学的特性の検討	63万円
7	半田 直人	東アジアにおける新生代後半のサイ科化石の再検討および古生物地理学的意義	57.3万円
8	柴田 知之	桜島火山の溶岩の地球化学的性質を用いたマグマの起源・進化過程と時空変化の解明	50万円
9	清家 弘治	2011年津波堆積物が震災から5年後の2016年にも存在しているかを検証する	100万円
10	河村 愛	第四紀後期の日本の哺乳類に起った種多様性の著しい変化とその要因	98万円
11	楠 稚枝	地磁気逆転現象の高解像度解析	44.7万円
12	菊地 一輝	生痕化石研究から見た深海底生動物の多様性と海底環境の相互関係	55万円
13	多田 賢弘	東南アジアにおける0.8Ma小天体衝突イベントの規模及び衝突地点の推定	84.4万円
14	生野 賢司	白亜紀異常巻きアンモナイトにおける形態変異と分散能力の関係	69.7万円

[植物学] 15名 1,075万円

NO	氏名	研究課題	助成金
1	兼子 伸吾	絶滅危惧植物クマガイソウの種子繁殖条件の解明ークローン構造解析と野外播種実験による挑戦ー	50万円
2	末次 健司	菌寄生植物オニノヤガラ属における特異な送粉様式の解明	85万円
3	土松 隆志	ゲンノショウコにおける花色多型の遺伝的・系統的背景:家系解析とDNA多型解析からのアプローチ	90万円
4	布施(山崎) 静香	ケイビラン属における花の二型性の実態解明	76万円
5	ルグラン ジュリアン	古花粉学による日本の後期中生代植生変遷と被子植物多様化過程の解明	90万円
6	渡辺 洋一	日本列島における類似分布を示す2つの近縁固有種の種間・集団間分化の形成過程の比較	85万円
7	上中 央子	高精度な植物遺体同定のための現生標本拡充ー緊急を伴う水田雑草標本の収集・作製ー	85万円
8	角田 智詞	根食が誘導する地上部の防御反応が植物の適応度を高めるか?	40.4万円
9	寺田 和雄	前世紀に命名された日本産中生代材化石の分類学的再検討	70万円
10	鷗沢 美穂子	形態学的アプローチによる苔類・ツノゴケ類の孢子体ー配偶体接続部の発生過程の解明	65万円
11	川上 新一	粘菌類の系統分類によるフロラの解明	55万円
12	吉野 花奈美	糖輸送体遺伝子を用いた地衣類の分化・進化の解明	68.6万円
13	長野 秀美	花期の異なるヤマツツジ <i>Rhododendron kaempferi</i> の同所的生息の謎を解くー植物の種分化メカニズムの解明ー	70万円
14	吉川 裕子	TLCにUV照射を加えた地衣成分分析法の汎用化を目的とするデータベース構築	75万円
15	坂田 歩美	山地帯・亜高山帯におけるキゴウゴケ属 <i>Opegrapha</i> (リトマスゴケ科 <i>Roccellaceae</i>) 地衣類の生育地調査	70万円

地学・植物学合計 2000万円

平成27年度（第24回） 高等学校助成 助成校一覧表

【A 備品助成】

NO	氏名・学校名	生徒数	品名
1	鎌田卓哉(53才) 上海日本人学校高等部 全日制課程	1年 43名	1.液晶ディスプレイ23型ワイド (LG) 23MP47HQ-P : 1台
		2年 46名	
		3年 38名	22,140円
		4年 0名	2.書画カメラ PC-192 : 1台
		クラブ活動その他10名	78,624円
			3.デジタル顕微鏡テレビ装置 YDC-500 : 1台
			92,880円
	4.ビジュアル位相差顕微鏡 NEW-ODEC-2003トリプル	313,350円	
	5.諸経費(手数料・送料等)	46,540円	
	6.予備費(関税)	18,270円	
		合計 571,804円	
			A 合計571,804円

*承認時合計額、601,994円

【B 生徒用顕微鏡の買換え助成】

NO	氏名・学校名	生徒数	品名
1	近藤 雅典(34才) 福岡県立糸島農業高等学校 全日制課程	1年 160名	1.生物顕微鏡ウイングブルーシリーズ (ナリカ) D-21-4184 WB600-S :15台
		2年 10名	
		3年 10名	839,970円
		4年 0名	
		クラブ活動その他 名	合計 839,970円
2	鍛田 リサ(46才) 熊本県立高森高等学校 全日制課程	1年 22名	1.生物顕微鏡 (島津理化) 114-045 GLB-600AL :15台
		2年 23名	
		3年 40名	658,500円
		4年 名	
		クラブ活動その他 名	合計 658,500円
			B 合計1,498,470円

【C 課外活動に必要な交通費等の補助もしくは消耗品への助成】

NO	氏名・学校名	生徒数	品名
1	長尾 嘉崇(35才) 東京都立国分寺高等学校 全日制課程	1年 11名	1.中型貸切バス 1泊2日・ガイドなし
		2年 10名	172,800円
		教員 3名	2.高速料金往復
			15,390円
			3.宿泊費
			92,500円
			合計 280,690円
2	白石 直樹(53才) 東京都立淵江高等学校 全日制課程	東京都立 淵江高等学校1-3年	1.大型バス借上げ 1日目・3日目
		江北高等学校1-3年	270,000円
		隅田川高等学校2-3年 各数名	2.マイクロバス借上げ 2日目
			72,360円
			合計 342,360円
			C 合計 623,050円

*承認時 1 = 262,760円、2 = 300,000円、合計562,760円

総合計 2,693,324円

*承認時総合計2,663,224円